



第25回

日本太鼓ジュニアコンクール

THE 25TH NIPPON TAIKO JUNIOR COMPETITION

2023年3月19日(日) / 金沢歌劇座(石川県金沢市)

主催： [公財]日本太鼓財団
NIPPON TAIKO FOUNDATION

主管：公益社団法人 石川県太鼓連盟 / 日本太鼓財団石川県支部

特別協力：北國新聞社 / (株) 浅野太鼓楽器店

協力：(有) 諏訪響太鼓店 / (株) 宮本卯之助商店 / (株) 丸五 / 篠笛立平

協賛：Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

後援：総務省 / 文化庁 / 石川県 / 金沢市 / 石川県芸術文化協会 / テレビ金沢 /
MRO北陸放送 / エフエム石川 / 石川県観光物産館 /
金沢文化スポーツコミッション / 北陸三県太鼓協会

* 審査の妨げになりますので、会場での写真撮影・録画は一切ご遠慮ください。

* 客席内ではマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。

ご挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団
理事長 大澤 和彦

第25回日本太鼓ジュニアコンクールを石川県金沢市において開催できますことを大変喜ばしく思います。

公益財団法人 日本太鼓財団は、本年度設立25周年を迎え、新たに滋賀県、和歌山県の2支部が開設されました。現在43都道府県に47支部を設け、加盟団体数約670団体、会員総数約18,000人を数えております。

この「日本太鼓ジュニアコンクール」には、1999年に開催した第1回大会より自治大臣賞（第3回大会より総務大臣賞へ名称変更）が下付されており、その後も2003年の第5回大会より文部科学大臣賞、2009年の第11回大会より内閣総理大臣賞が下付されています。本年度は、次世代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的に、各予選を勝ち抜いた国内37都道府県から43団体並びに台湾から1団体、合計44団体が競い合い、さらに特別出演としてブラジルから「クリチーバ若葉太鼓」、また、前回大会優勝団体の「和太鼓たぎり」が演奏し、日頃の練習の成果を発表するコンクールです。

出場する皆さんは、成績のみにこだわることなく、日本太鼓を通じ、他人への思いやりや礼節を学ぶとともに全国各地の仲間と交流を図り、友好を深め、いつまでもそれぞれの胸に残るコンクールとなることを期待いたします。

当財団は、新型コロナウイルスの対策として、2020年9月に臨床感染制御学専門家等の立ち会いのもと「太鼓演奏における演奏者の飛沫飛散状況」の検証を行い、その検証結果に基づく「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を策定いたしました。このガイドラインに基づく感染予防対策を講じながら、本事業はもちろんのこと、今後も各種事業を実施してまいります。

最後に、当財団の活動に多大なご支援をいただいております日本財団ならびにポートレース関係者、そして本開催にあたりご支援ご協力いただきました総務省、文化庁、石川県、金沢市をはじめとする関係各位、主管の石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部の皆さまに心からお礼を申し上げます。

ご祝辞



石川県知事
馳 浩

「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」が、ここ石川の地で盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、国内外からお越しいただきました皆様を心から歓迎いたします。

日本太鼓は、わが国の長い歴史の中で、人々の生活や風土によって生まれ、時代を超えて多くの人々に愛されてきた、世界に誇る伝統音楽・伝統芸能であります。また、太鼓に向かう真摯な態度や演奏に必要なチームワークを学ぶことで、豊かな人間性が養われ、次代を担う青少年の健全育成にとっても誠に意義深いものと思います。

今回のコンクールでは、全国各地で選抜された代表チームに加え、海外からブラジル、台湾のチームも参加され、計44団体の選手達が磨き抜かれた技とチームワークを競い合うとお聞きしています。出演される皆様には、日頃の練習の成果を十分に発揮されますとともに、選手同士の交流の輪を広げ、素晴らしい思い出を作られることを期待しています。

本県では、本年秋に第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭である「いしかわ百万石文化祭2023」の開催が控えています。本県の大きな魅力である多様で質の高い文化を県内外にアピールする絶好の機会であり、「文化立県・石川」の確たる地位を築いていくため、本県の豊かな文化の土壌に更なる磨きをかけてまいる所存です。皆様方には、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

また、石川県には、日本三名園の一つである兼六園や金沢城公園など加賀百万石の歴史や文化、霊峰白山や世界農業遺産「能登の里山里海」をはじめとする豊かな自然や新鮮な海山の幸などがあります。ご来県いただいた皆様には、この機会に本県の多彩な魅力を存分にご堪能いただければ幸いです。

最後に、本コンクールの開催にあたり尽力されました関係各位に深く敬意を表しますとともに、コンクールのご成功とご出演の皆様方の今後ますますのご活躍を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

ご祝辞



金沢市長
村山 卓

第25回日本太鼓ジュニアコンクールが、本市で盛大に開催されますことをお喜び申し上げますとともに、国内のみならず、台湾、ブラジルからお越しいただき地元市長として心から歓迎を申し上げます。

「心の豊かさ」が求められる時代にあって、日本太鼓は、我が国伝統の楽器であり、その深遠な打音は、心にしみわたり、奏者の気持ちの高まりや息づかいが音となって聞く者の心を揺さぶり、深い感動を与えてくれるものであります。

本コンクールは、次世代を担う子どもたちの健全育成と、日本太鼓の後継者育成を目指し、高校生以下の皆さんを対象に毎年開催される石川県発祥の全国規模のコンクールであり、本市での開催は平成30年に続き3回目となりました。出演される皆様には、日頃の練習成果を十分に発揮され、若さ溢れる熱演を大いに期待しております。

また、今大会では、お越しいただきました皆様に金沢文化スポーツコミッションから「金沢謎旅」をお配りさせていただいております。金沢のまちを歩き、まちなかにある多くの文化芸術施設にも足をお運びいただき、今も市民の生活に息づく本市の文化に触れていただければ幸いです。

本年秋の「いしかわ百万石文化祭2023」開会まで、いよいよ7か月となりました。本市としましても、石川県や様々な文化芸術団体等の皆様方と連携を密にしながら、開催準備を加速し、機運醸成事業も本格化させて盛り上げていきたいと考えております。また、「世界に誇る文化都市・金沢」の魅力に一層磨きをかけ、まちを元気にする取り組みも進めていきたいと思っております。皆様方におかれましては、引き続き、本市の文化の振興と発展にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本コンクールのご成功と開催にご尽力されました日本太鼓財団、石川県太鼓連盟をはじめ、関係各位の皆様方の今後ますますのご発展と更なるご活躍を心から祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

ご挨拶



日本太鼓財団 石川県支部 支部長
公益社団法人 石川県太鼓連盟 会長
米 田 直 樹

公益財団法人日本太鼓財団の主催による「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」が石川県で5年ぶりに開催されるあたり、日本太鼓財団石川県支部を代表し心から歓迎を申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的な影響で第22回大会は中止、第23回大会は出場団体数も限定された動画審査と言う状況で、第24回の富山県での大会は、無観客で大会を終えましたが、5年に1度石川県で開催される本大会が、ようやく4年ぶりに観客を入れて、海外からの出場団体も加わり、盛大に行われる事が喜びに堪えません。

本年秋には、「第38回国民文化祭」「第23回全国障害者芸術・文化祭」を含む、「いしかわ百万石文化祭2023」が10月14日から開催されます。

この機に来県された、選手や関係者の皆様には、限られた期間ではありますが、石川県の自然・食・文化「文化絢爛（ぶんかけんらん）のいしかわ」に触れて頂ければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力を頂きました関係各位に心より感謝を申し上げ運営に携わって頂いたスタッフの皆様にご挨拶を申し上げます。本日ご来場頂いた皆様方のご健康とご多幸を祈念して、ご挨拶といたします。

ご挨拶



北國新聞社 社長
砂 塚 隆 広

「第25回日本太鼓ジュニアコンクール」が、5年ぶりに石川県で開催されることとなり、ご出演の46チーム、約600人の皆さまを心より歓迎いたします。

日本太鼓ジュニアコンクールは、石川県と非常に縁の深い大会です。1999（平成11）年の第1回大会は、川北町で開催され、約3千人の歓声を受けて、地元小松市の「共栄太鼓風雅」が初代チャンピオンに輝きました。その後の第2回大会、そして、節目の第10回大会や第15回大会も石川県で開催され、今回で全国最多の6度目の開催となります。

石川県では太鼓文化の普及に合わせ、1985（昭和60）年に県太鼓連盟が発足し、1996（平成8）年に社団法人化、2013（平成25）年には公益社団法人に移行されました。伝統的な和太鼓の発掘や保存はもとより、青少年の健全育成や国際親善にも積極的に取り組まれ、石川が誇る芸能文化の継承、発展を支えていただいております。

今大会には、海外からブラジルと台湾のジュニアチームも参加しており、和太鼓が国境を越えて、世界に広がっていることを実感させてくれます。出場されるチームの皆さまには、活気あふれる演奏を期待し、ご来場の皆さまには、子どもたちのひたむきで気迫に満ちた姿に、惜しみない拍手と声援を送っていただければ幸いです。

本公演の開催にあたり、ご尽力賜りました関係各位に心より感謝申し上げ、ご挨拶いたします。

審査委員紹介



大藏基誠

能楽師狂言方大藏流／俳優／能楽協会東京支部会員
一般社団法人 EXTRAD 代表理事
一般社団法人 日本伝統芸術国際交流協会理事

1979年 東京都に生まれる。
2010年 奈良市観光大使を務める
2017年 自身が脚本し舞台「TheFactory」を演出。芝居と古典芸能を融合させたアカデミックエンターテイメントショーとして学びながらも楽しめる新ジャンルの舞台を創りあげる。NHK ラジオ「ラジオ深夜便」ニッポンの音のパーソナリティーを勤める。
東京を中心に全国の能楽堂やホールにて狂言の公演を年間 100 公演ほどこなす。



大澤和彦

公益財団法人 日本太鼓財団 代表理事(理事長)

1946年 東京都に生まれる。
1967年 東京都吹奏楽連盟理事／東京都大学吹奏楽連盟事務局局長就任
1968年 日本大学経済学部卒業／東京都大学吹奏楽連盟副理事長就任
以降、日本マーチングバンド・パトントワリング協会副理事長等を歴任しながら、複数の中学校、高等学校等を指導しながら一般社団法人 日本マーチングバンド協会公認指導員のライセンスを取得、以後ディズニーランドや志摩スペイン村、国民文化祭オープニングパレード等の演出やバンド指導に従事
1974年 日本国民音楽振興財団(現・公益財団法人 日本音楽財団)事務局勤務
1997年 財団法人 日本太鼓財団(現・公益財団法人 日本太鼓財団)事務局勤務
2016年 公益財団法人 日本太鼓財団常務理事に就任
2020年 公益財団法人 日本太鼓財団理事長に就任、現在に至る。



岡田知之

洗足学園音楽大学名誉教授

1936年 京都府に生まれる。
1960年 東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業
1960年 NHK交響楽団打楽器奏者(～1992年)
1979年文化庁芸術祭優秀賞、1981年日本レコードアカデミー賞、1991年音楽之友社賞、2022年社会教育功労者賞、を受賞。
東京藝術大学音楽学部講師、国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学教授・音楽学部長、名古屋音楽大学特任教授、札幌大谷大学客員教授、及び公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会会長などを歴任。
現在は、NHK交響楽団理事、日本打楽器協会会長、音楽大学オーケストラフェスティバル実行委員長、N響団友オーケストラ代表、を務めている。
著書：打楽器事典(音楽之友社・1981年)
小太鼓 100 曲集(共同音楽出版社・1975年～増刷中)



喜多郎

演奏家

1953年生まれ、愛知県出身。
1980年、NHK制作のドキュメンタリー番組「シルクロード」の音楽を担当し、喜多郎の代表作の1つとなる。
1993年、「Heaven&Earth」でゴールデングローブ賞作曲賞受賞。1994年、米国Domo Recordsと契約。
2001年には「Thinking of you」でグラミー賞を獲得した。
2001年の米国同時多発テロをきっかけに、四国遍路八十八カ所の鐘を収録し、楽曲を制作するという『空海の旅』プロジェクトを開始。
2007年には中国映画の巨匠チャン・イーモウ監督の水上オペラで音楽を担当し、オリジナルサウンドトラック「Impressions Of The West Lake」が2010年のグラミー賞にノミネートされた。また、すずきじゅんいち監督の日系史映画「Toyo's Camera」[442]MISへも楽曲を提供し、サウンドトラックをリリース。
2007年から開始した「Love & Peace World Tour」では、2010年までに10カ国18公演を実施。2014年に始めた Symphonic World Tour でLive 録音した「Kitaro Symphony Live in Istanbul」が16回目のグラミー賞にノミネートされた。



高野右吉

公益財団法人 日本太鼓財団 副会長／秩父太鼓連盟会長
無形文化財秩父屋台囃子保存会秩父社中二代目家元
公益財団法人 日本太鼓財団 1級公認指導員

1942年 埼玉県秩父市に生まれる。
1976年 全関東祭ばやしコンクール優勝高松宮杯獲得
1983年 秩父屋台囃子保存会秩父社中家元
1991年 秩父太鼓連盟会長
1998年 財団法人 日本太鼓連盟(現・公益財団法人 日本太鼓財団、以下同)副技術委員長
2001年 秩父市教育委員会事務局局長就任(～2003年まで)
2003年 日本太鼓連盟埼玉県支部(現・日本太鼓財団埼玉県支部)名誉会長
2014年 第11回日本太鼓シニアコンクール文部科学大臣賞受賞
2016年 公益財団法人 日本太鼓財団副会長
2019年 第16回日本太鼓シニアコンクール内閣総理大臣賞受賞



長谷川 義

公益財団法人 日本太鼓財団 会長

全九州太鼓連合名誉最高顧問

公益財団法人 日本太鼓財団 1級公認指導員

1951年 大分県湯布院町に生まれる。

1979年 「豊の国ゆふいん源流太鼓」を発足。(2007年、由布市指定無形文化財)

1993年 全九州太鼓連合を設立、会長に就任。

1998年 財団法人 日本太鼓連盟 (現在の公益財団法人 日本太鼓財団) 理事に就任、2022年に会長となり現在に至る。

2007年 台湾太鼓協会の常任指導者として活動。現在に至る。

2011年 第8回日本太鼓シニアコンクール名人位。

2021年 第18回日本太鼓シニアコンクールにて2度目の名人位。

日本全国で伝統文化である和太鼓の後継者育成や台湾太鼓協会の総指導者として世界へ和太鼓の文化普及・発展に努めている。



古屋 邦夫

公益財団法人 日本太鼓財団 技術委員会委員長

中日本太鼓連合会長

日本太鼓財団長野県支部支部長

公益財団法人 日本太鼓財団 1級公認指導員

1948年 長野県に生まれる。

1967年 御諏訪太鼓に入門、宗家小口大八氏に師事

1978年 長野県やまびこ国体 集団演技太鼓の部で県内チームを指導。以降、170チームを超える各地の団体を指導。海外でも数多くの公演を行い、多くの海外チームを指導。

1998年 長野冬季オリンピックにおける閉会式の太鼓演奏や2千人太鼓等の指導を行う

2008年 長野県支部支部長、御諏訪太鼓保存会会長に就任

2015年 第12回日本太鼓シニアコンクール名人位



山田 正俊

日本マーチングバンド協会北陸支部支部長

公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会副会長

石川県マーチングバンド協会理事

1954年 石川県に生まれる。

1975年 東京藝術大学音楽学部打楽器科別科入学

1977年 東京藝術大学音楽学部打楽器科別科卒業

1978年 ヤマハ株式会社の委任講師として全国各地でバンド指導

1996年 ヤマハ株式会社退社後、フリーでマーチングバンドの指導に携わる

2014年 日本マーチングバンド協会北陸支部支部長・同石川県協会理事

2022年 公益社団法人 日本吹奏楽指導者協会副会長

日本マーチングバンド協会、公共団体などから普及活動、音楽指導に対する感謝状を授与される。各種大会の審査員を務める傍ら、打楽器、マーチングバンドの指導者を輩出し、「時代、世代、ジャンルを問わない」マーチング活動の持ち味を生かしながら、多岐にわたって楽しめるように活動の幅を広げている。



山部 泰嗣

太鼓奏者

1988年 岡山県倉敷市に生まれる。

2004年16歳にして「東京国際和太鼓コンテスト 大太鼓部門」にて最優秀賞を史上最年少で受賞。

活動は太鼓界に留まることなく、五木ひろしや坂本冬美など演歌勢との舞台競演、きゃりーぱみゅぱみゅらJPOP、ロック界ではSPYAIRとのセッションにまで活躍の場を広げ様々なジャンルとの競演も精力的に行っている。

特に、世界30ヶ国500万人の観客動員したFuerzabrutaの日本公演「WA!」においては、約400回というロングラン公演で観客を魅了する。

(五十音順・敬称略)

プログラム

課題曲：『旅立ち』
作曲：長谷川 義

■ 開会式

■ 演奏

第1部 10:45～

- | | | |
|---|------------|----|
| 1. 和太鼓 凧
Wadaiko Nagi from Chiba | 千葉県…………… | 12 |
| 2. 會津田島太鼓「狐ノ刃」
Aizu Tajima Taiko “Konoha” from Fukushima | 福島県…………… | 12 |
| 3. 和太鼓集団 夢幻の会 子ども太鼓
Mugen-no-kai Junior Team from Kagawa | 香川県…………… | 13 |
| 4. 上石津もんでこ太鼓保存会「結」
Kamiishizu Mondeko Taiko “Yui” from Gifu | 岐阜県…………… | 13 |
| 5. 蝦夷太鼓ジュニア
Ezo Taiko Junior Team from Hokkaido | 北海道道東…………… | 14 |
| 6. 橘太鼓「響座」ジュニア
Tachibana Taiko “Hibikiza” Junior Team from Miyazaki | 宮崎県…………… | 14 |
| 7. 東京都立白鷗高等学校和太鼓部
Hakuo High School Taiko Club from Tokyo | 東京都…………… | 15 |
| 8. SEISA 打鼓音
SEISA Dakoon from Kanagawa | 神奈川県…………… | 15 |
| 9. 養父太鼓 鼓彩
Yabu Taiko “Koi” from Hyogo | 兵庫県…………… | 16 |
| 10. 江別見晴台鼓楽会豊太鼓
Ebetsu Miharashidai Koraku-kai Yutaka Taiko from Hokkaido | 北海道道央…………… | 16 |
| 11. 境原和太鼓クラブ
Sakaihara Taiko Club from Wakayama | 和歌山県…………… | 17 |
| 12. 託東太鼓
Takuto Taiko from Kumamoto | 熊本県…………… | 17 |
| 13. 津・高虎太鼓
Tsu Takatora Taiko from Mie | 三重県…………… | 18 |
| 14. 仙北太鼓 Jr.
Senboku Taiko Junior Team from Akita | 秋田県…………… | 18 |
| 15. 大和太鼓保存会 鼓天童子
Yamato Taiko Kotendoji from Saga | 佐賀県…………… | 19 |

第2部 13:30～

- | | | |
|---|------------|----|
| 16. 川越ふじ太鼓
Kawagoe Fuji Taiko from Saitama | 埼玉県…………… | 19 |
| 17. 岩手県立大船渡東高等学校 太鼓部
Ofunato Higashi High school Taiko Club from Iwate | 岩手県…………… | 20 |
| 18. 金光藤蔭高等学校 和太鼓部 “鼓響”
Konkotoin High School Taiko Club “Kokyo” from Osaka | 大阪府…………… | 20 |
| 19. 新潟万代太鼓 鼓助
Niigata Bandai Taiko Kosuke from Niigata | 新潟県…………… | 21 |
| 20. 和太鼓サスケ
Sasuke from Ishikawa | 石川県…………… | 21 |
| 21. 上州あずま太鼓会
Jyosyu Azuma Taiko-kai from Gunma | 群馬県…………… | 22 |
| 22. 室蘭和太鼓會 北風
Muroran Wadaiko-kai Kitakaze from Hokkaido | 北海道道南…………… | 22 |
| 23. 永平寺龍童太鼓
Eiheiji Rindo Taiko from Fukui | 福井県…………… | 23 |
| 24. 諫早天満太鼓
Isahaya Tenman Taiko from Nagasaki | 長崎県…………… | 23 |
| 25. 赤平火太鼓保存会
Akabira Hi-Taiko from Hokkaido | 北海道道西…………… | 24 |
| 26. 明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓
Meitoku Gijuku Junior and Senior High School Taiko Club Taiko-shu Miko from Kochi | 高知県…………… | 24 |
| 27. 信濃国松川響岳太鼓子供会
Shinanonokuni Matsukawa Kyogaku Taiko Junior Team from Nagano | 長野県…………… | 25 |
| 28. 三代目源流
Third generation Genryu from Oita | 大分県…………… | 25 |
| 29. 松平わ太鼓
Matsudaira Wa-Taiko from Aichi | 愛知県…………… | 26 |
| 30. 源多良太鼓保存会「心 (shin)」
Gentara Taiko “Shin” from Toyama | 富山県…………… | 26 |

第3部 15:45～

31. 掛合太鼓ジュニア Kakeya Taiko Junior Team from Shimane	島根県……………	27
32. 火の神乙女太鼓 爽 Hinokami Otome Taiko “So” from Kagoshima	鹿児島県……………	27
33. 北海みゆき太鼓 Hokkai Miyuki Taiko from Hokkaido	北海道道南…………… (北海道ブロック代表)	28
34. 岩舟武蔵太鼓 Jr. Iwafune Musashi Taiko Junior Team from Tochigi	栃木県……………	28
35. 輪島・和太鼓 虎之介 Wajima Wadaiko Toranosuke from Ishikawa	石川県……………	29
36. 糸島二丈絆太鼓 Itoshima Nijyo Kizuna Taiko from Fukuoka	福岡県……………	29
37. ふじた傳三郎太鼓 童 Fujita Denzaburo Taiko Warabe from Okayama	岡山県……………	30
38. 舞鶴一座 秋月鼓童 Maiduru Ichi-za Akidukikodo from Miyazaki	宮崎県…………… (全九州ブロック代表)	30
39. 富岳太鼓 風神組 Fugaku Taiko Fujin-kumi from Shizuoka	静岡県……………	31
40. やまばと太鼓 Yamabato Taiko from Akita	秋田県…………… (東北ブロック代表)	31
41. 大和の響き・京 Yamato-no-hibiki “Kyo” from Kyoto	京都府……………	32
42. 和☆Rock Jr. 奏 Wa ☆Rock Junior Team “Kanade” from Hiroshima	広島県……………	32
43. 太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」 Taiko Dojo Kaze-no-kai Junior Team “Rizin-kumi” from Yamagata	山形県……………	33
44. 葫蘆墩 Smile 太鼓團 Huludun Smile Taiko from Taiwan	台 湾……………	34

特別演奏

クリチーバ若葉太鼓 Curitiba Wakaba Taiko from Brazil	ブラジル……………	35
和太鼓たぎり Wadaiko Tagiri from Fukuoka	福岡県……………	36

■ 表彰式

■ 閉会式

*コンクールの出場順番は、公正を期すため2023年1月20日(金)に開催された第74回運営委員会並びに第78回技術委員会において抽選を行い決定したものです。

*コンクールの優勝団体は、2024年3月24日(日)埼玉県さいたま市開催予定の次回大会にて特別演奏を行うことになっておりますので次回の本大会には出場できません。

開催要領

本コンクールの審査については、公益財団法人 日本太鼓財団が定める「日本太鼓ジュニアコンクール開催要領」に基づいて行なわれます。

(一部抜粋)

第7条 全国コンクールの審査は、基準に基づいて厳正に行い、その運営も公正でなければならない。

2 審査方法は、次のとおりとする。

- (1) 審査委員により行う。
- (2) 審査委員は、原則として、5名以上10名以内とし審査委員長1名を選任する。
- (3) 審査委員は、当財団会長が委嘱する。
- (4) 審査委員長は、予め審査委員と会議を持ち、審査要領及び審査基準等の打合わせを行う。
- (5) 審査委員は、採点表(別表)に従い各項目を採点する。
- (6) 審査の対象は、課題曲並びに自由曲とする。

3 審査基準は、次のとおりとする。

- (1) 課題曲と自由曲を含め5分以内とし、太鼓の打ち始めから打ち終わりまでとする。なお、演奏時間を超過した場合は失格とする。この場合、担当者3名以上を置き計時する。
- (2) 台詞、歌、伴奏の楽器による演奏は演奏時間に入るものとする。
- (3) 演奏は、伴奏を含めて生演奏とする。
- (4) 審査の採点は、100点満点制とする。
- (5) 審査項目は、次の5通りとする。
 - ① 礼節・衣装
しっかりした挨拶、身のこなし、太鼓に向かう毅然とした態度か、また、太鼓演奏にふさわしく衣装が青少年らしいかをポイントにする。
 - ② 構え・打法
腰を落とした安定ある姿勢、体全体で打ち込んでいるか、また、バチさばきと振り、正確な打法、太鼓本来の音が出ているかをポイントにする。
 - ③ 演奏技術
演奏技術が身につけているか、その技術レベルが高いかをポイントにする。
 - ④ 音楽表現
曲想に合った演奏(強弱・速度等)とのバランス及び、笛、鉦等との調和がとれているかをポイントにする。
 - ⑤ チームワーク
チーム全体が息のあった演奏をしているかをポイントにする。

ご来場のお客様へ

- 演奏中の客席への出入りは、ご配慮ください。
 - 客席は、照明が暗くなっておりますので、移動の際はお気を付けください。
 - 演奏観覧中も常時マスクを着用し、咳エチケットにご協力ください。
 - 会場内では対面、大声での会話はお控えください。観覧中は声援などの声出しはせず拍手のみをお願いします。
 - 客席での写真撮影や動画撮影はできません。客席でのご飲食はできません。
 - 携帯電話は、マナーモード設定にするなどのご配慮をお願いします。
 - 貴重品等は、ご自身での管理をお願いします。
 - 感染が疑われる方はご退場いただき、かかりつけ医や保健所に相談してください。イベント参加後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者(日本太鼓財団)に必ずご連絡ください。万が一、イベント開催後2週間以内にご来場者様の中から陽性と診断された方がいるという報告が主催へあった場合は、速やかに日本太鼓財団公式サイトにて情報を公開します。
- 日本太鼓財団公式サイト <https://www.nippon-taiko.or.jp>

出場団体紹介

1 ^{わ だい こ なぎ} 和太鼓 凧

千葉県



演奏曲

^{む さ し}
六三四

代表者: 君塚かよ子

金坂 歩華 / 内野 裕介
板倉 乃愛 / 鶴岡 海怜
天野 波瑠 / 渡辺 郁公
緑川 将行 / 板倉 莉子
笠原 朝日

私たち「和太鼓 凧」は、房総半島の東南に位置する「いすみ市」を中心に、地域の祭礼やイベント等での演奏を主体として活動しています。

しかし残念ながら最近は演奏などできる機会がなく、毎日の生活でも感情をおさえた日々が続きました。そんな私達は自由曲「六三四」に込めた想いをどう表現したらよいか? 指導いただいた先生にどうしたら応えることができるのか? たくさん悩みました。

まだ未熟ですが応援して下さる皆さんに、感謝を込めて、仲間を信じ、自分を信じ、「心は一つ」であることを胸にいだきながら、私たちの太鼓でたくさんの人を幸せにと願いを込めて演奏します。

2 ^{あい づ た じ ま たい こ こ の は} 會津田島太鼓「狐ノ刃」

福島県



演奏曲

^{さる とび}
猿 飛

代表者: 渡部久留美

阿久津桜花 / 大竹 楓歌
弓田 望翔 / 弓田 優来
橋本 瑞玲 / 小椋 遥翔
菊地 昊璃 / 渡部 詩奈

會津田島太鼓は、福島県南會津町で2007年に結成。

今年で16年目を迎えます。地元の伝承を元にした創作太鼓を主に演奏し、地域活性を目標に全国各地、海外でも「南會津の音」を響かせています。

すべての曲がひとつの「物語」となるように、語るように太鼓を打つ。「人の心を打つ太鼓」を目標に日々練習を重ねています。振り下ろすバチひとつひとつに想いを込め打ちますので、どうぞよろしくお祈りします!

3

わ だい こ しゅうだん む げん かい こ だい こ

和太鼓集団 夢幻の会 子ども太鼓 香川県



演奏曲

はやて やしま たたか
疾風～屋島の戦い～

代表者: 奥村 文浩

村杉 芽衣 / 村杉 真歩

村杉 美香 / 鶴崎 遥

蓑田 虎太郎 / 蓑田 凜

多田 英真 / 山家 純

西岡 緒人

夢幻の会子ども太鼓は、2003年10月に結成し、幼稚園児・小学生・中学生・高校生を中心に活動している和太鼓集団です。福井県越前権兵衛太鼓八代目玉村武氏より伝授された、古くから伝わる和太鼓の三ッ打ちのリズムを取り入れた「いん石流れ打ち」、35年前、香川県国分寺町に舞い降りた国分寺シャワー隕石をモチーフに作曲された「宇宙の石」などを代表曲として、稽古を積み重ねています。

この宇宙の石の楽曲において、2014年、福島県で行われたジュニアコンクールを皮切りに、2016年、2017年、2021年特別賞を受賞しています。そのほか、源平合戦をモチーフに作曲した疾風～屋島の戦い～、花綴りなど、地域に根差した独自の和太鼓音楽を奏でている団体です。

練習日は、毎週月曜日、水曜日、金曜日に夢幻の会道場で稽古を積み重ね、地域の夏祭りなど地域イベントに出演し、演奏活動を行っています。

4

かみ いし づ たい こ ほ ぞん かい ゆい

上石津もんでこ太鼓保存会「結」 岐阜県



演奏曲

つむぎ
紬

代表者: 永墓 清一

藤田 尚寿 / 伊藤 菜乃

高木 李歌 / 伊藤 梨乃

伊藤 聡真 / 伊藤 大樹

土方悠衣奈 / 久松 波音

後藤 未来

岐阜県の最南端の小さな町で村おこし事業の一環で1989年に発足した太鼓チームです。

少年部は今年で28年目を迎えます。小学生から太鼓を始め社会人になってもチームを作り、各世代で活動しています。

皆で曲作りをして先輩たちから受け継いだ伝統を守りつつ、目標にチームワークを大切にを掲げ活動してきました。今回のメンバーは中学生2人高校生7人で挑戦します。

練習の送り迎えをしてくれた家族をはじめ応援してくださった皆様に感謝の気持ちを込めて精一杯の演奏をします。

5 えぞ たいこ 蝦夷太鼓ジュニア

北海道道東



演奏曲

だ いん
打 韻

代表者: 慶伊 大輔

吉岡 栞 / 金澤 侑来

宮島 将吉 / 半田 絢瀬

村岡 栞那 / 奥野 彩華

平山 真 / 米澤 日和

石田 暖愛 / 梅里 遙斗

杉本 明菜 / 町田 凜

野呂美祐風

平成12年に北海道くしろ蝦夷太鼓保存会の直轄ジュニアチームとして結成し、22年目の現在を迎えています。打ち手メンバーとしては高校生7名、中学生6名で地域の各学校からそれぞれ集い、北海道くしろ蝦夷太鼓保存会と共に各地のイベントに数多く出演して地元釧路に根差した活動をしています。

寿子ども蝦夷太鼓同好会（小学生）から積み上げてきた太鼓への強い想いでチーム一丸となり演奏いたします。北海道道東釧路に広がる大自然（釧路湿原）のように、子ども達の無限の可能性（道産子パワー）を是非、感じてください。

6 たちばな たいこ ひびき ざ 橋太鼓「響座」ジュニア

宮崎県



演奏曲

ア ッ セ ン ブ ル
assemble

代表者: 岩切めぐみ

後藤 瞭来 / 竹ノ内 倫生斗

久米田 晃法 / 杉尾 里菜

本多 澄海 / 大村 朋希

杉尾 蒼也 / 井上 煌介

高妻 心音 / 井田 詞也

福田 悠人 / 二見 彩音

二見 莉旺

私達、橋太鼓「響座」ジュニアは、神話の里（宮崎県宮崎市）に拠点を置き活動を続ける橋太鼓「響座」のジュニアチームとして平成17年に結成されました。太鼓道を通じ、礼節を重んじ、日本の和の心を大切に日々練習に励んでおります。

現在は、2012年から本格的に和太鼓のソロ活動を開始した、橋太鼓「響座」の岩切響一の指導の下、常に進化を求めて和太鼓の音色を追求しており、これまでにない新しい和太鼓の響を令和の世界へ発信して行ければと一打一打に魂を込めて演奏致したいと思います。

7

とうきょう と りつ はく おう こう とう がっ こう わ だい こ ぶ
東京都立白鷗高等学校和太鼓部

東京都



演奏曲

きば
牙

代表者: 伊藤 隆則

齊藤 翔 / 佐伯 果音
高坂 真緒 / 鈴木 萌枝
長谷川 景 / 藤田 真穂
新井 希実 / 川上穂乃香
富田 紗彩 / 松下 奈央
長谷川 恋 / 神谷 咲江
湯澤 淳平 / 川東 英奈

都立白鷗高校和太鼓部です。私たちの学校は上野と浅草の間にあり、「日本の伝統文化を学び、継承する」という教育方針のもと、大江戸助六太鼓にご指導いただき、日々練習を重ねています。

今回演奏する「牙」という曲は、その名の通り大きな獣が鋭い牙を光らせ、広い大地を駆け巡る、生命力、疾走感、躍動感を感じられる曲です。緊迫した空気が解き放たれる瞬間、華やかな斜め打ちの手事、桶締太鼓と平太鼓の華麗なソロパート、大締太鼓の威厳な雰囲気ソロパートを魅せる構成を意識しました。また、芯のある音と斜め打ちならではの粋な振りにもご注目ください。五感を研ぎ澄ませ、魂を乗せて、獣の如く全力で駆け抜けます。

8

せい さ だ こ おん
SEISA 打鼓音

神奈川県



演奏曲

だ てん
打天

代表者: 渡邊 晃伸

野崎 姫愛 / 柏崎 叶多
坂本 悠菜 / 近藤 千夏
近藤 毅大 / 関根 理央
吉濱 吏琥 / 近藤 若奈
吉富 光晟 / 小泉 敬大
坂本陽向汰 / 紺谷 海斗
吉濱 来藍 / 渡部 知暉
相原 陵汰

創作和太鼓集団 打鼓音のジュニアチームとして神奈川県横浜市を拠点に活動を行っています。大会への出場や地域での演奏活動を目指して笑顔・声・元気良さをモットーに現在は小学生から高校生までが切磋琢磨しあい、練習を行っています。

自由曲「打天」は東京高尾山の天狗の伝説をモチーフに天狗が山々を飛び回る様を表現し作曲されました。“音を見る”というテーマのもと、各パートの音の掛け合いだけでなく振り付けもあり躍動感あふれる演目です。演奏発表の機会が減少しているこのコロナ禍に、コンクールという演奏機会をいただけたことに感謝して練習を積んできました。「夢は見るものではなく掴むもの」という言葉を胸に演奏いたします。

9 やぶ だい こ こい 養父太鼓 鼓彩

兵庫県



演奏曲

らい うん ひかり
雷雲の光

代表者: 奥藤 啓
奥藤凜太郎 / 北垣しきぶ
奥藤宗之助 / 奥藤ちひろ
鎌田 魁人 / 森元 天
北垣 慶悟

風すさび雨粒が舞い遠くから大地に轟く雷鳴、這うように空を覆う暗雲に光芒一闪。雲の切れ間から射すまばゆい光の道。

何もかも制限された3年間。私たちを取り巻く不安定な環境は、色々な「あきらめ」を生んでしまった。

そんな暗い世の中の空気を笑顔で吹き飛ばし、再び前向きに歩きだせるよう、そして明るい「未来」を指し示す、大空から大地を照らす光明を「全力」で表現します。

私たちのチームは、2009年に兵庫県北部「こうのとりの舞」舞う水の豊かな但馬の地で結成。たくましく滝を登る鯉のようにチャレンジします。

10 え べつ み はらし だい こ らく かい ゆたか だい こ 江別見晴台鼓楽会豊太鼓

北海道道央



演奏曲

うたげ
宴

代表者: 谷口 美幸
檜山菜々花 / 郡司 香風
藤巻 花音 / 田中 美咲
岡本 陽向 / 平原 優

原生林と石狩平野に抱かれた北海道江別市。その中心部に在りながら、札幌市を一望できる丘の上に見晴台があります。豊太鼓は、見晴台自治会の育成部によって、1989年「青少年の育成と、伝統文化の継承」を目的として結成され、地域に愛され続けてきました。

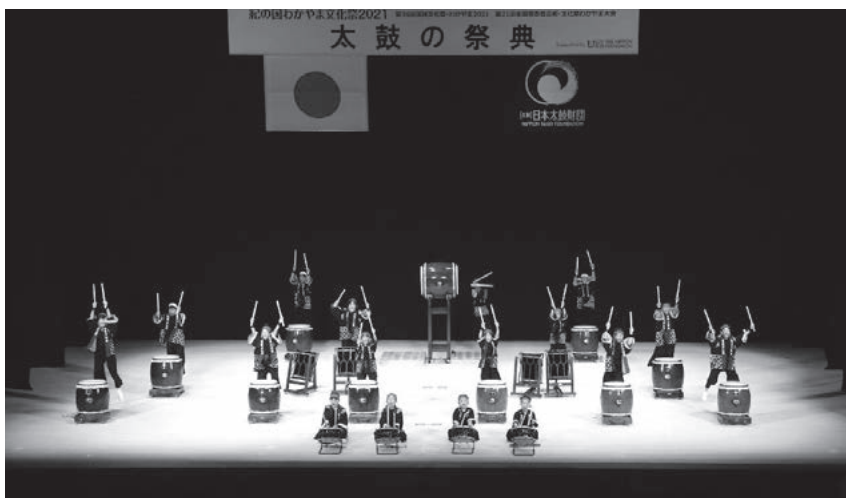
2007年には、自治会から独立し、活動の場を広げてきました。コロナ禍で一時期メンバーが随分減りましたが、練習が再開してから、また少しずつ増えてきたところです。

現在は3歳から大人まで40名ほどのメンバーが楽しく腕を磨いています。

来年は35周年記念公演『打って打って打ちまくる5』を開催する予定です。

11 さかい はら わ だい こ 境原和太鼓クラブ

和歌山県



演奏曲

しち ふく じん たから ぶね
七福神の宝船

代表者：堀田 博子

土橋 由愛／山口 遙花
吉田 涼／高橋 湊音
福井 湊人／藤井 彩羽
森本 琉月／石川 結華
小谷 優果／土橋 莉子

境原小学校では1989年度から地域の方に祭囃子を教えていただき地域の祭りに参加しています。しかし、卒業と同時に伝統に触れる機会が減っている事から、和太鼓クラブを通じて、在校生、保護者、卒業生、地域住民が伝統文化に触れ、地域の活性化に繋がる場として2014年に発足しました。

卒業生は帰省した時など懐かしい太鼓の音を聴いて練習を覗きに來たり、卒業生の子供が参加しています。

12 たく とう だい こ 託東太鼓

熊本県



演奏曲

てん ち
天 地

代表者：米満ひろみ

宮本 輝一／坂口 碧
堤 隆乃介／西田 龍克
久野倫太郎／橋本 莉空
北森 大輝／堤 恒志郎
橋本 昊征

託東太鼓は、熊本市東区の託麻東地区に伝わる雨乞い大太鼓の伝統文化継承、地域活性化を目的に2004年に結成されました。

現在メンバーは、地区内外の小学生から大人まで約30名で活動しています。今回、県大会において悲願の初優勝を果たし、初めて全国大会の舞台に立つことができました。今日はこれまでの全ての想いを胸に、精一杯演奏致します。そして今後も和太鼓文化の発展と地域活性化に努めて参ります。

13 津・高虎太鼓

三重県



演奏曲

とう どう ひやく にん たい こ
藤堂百人太鼓

代表者: 中田 正己

三浦 詩月 / 伊藤 詩桜
田中 奏汰 / 池田 拳翔
高山 実伶 / 高山 歩夢
照屋 心花 / 佐野 颯
斎藤 悠那 / 三浦 心寧
三浦 太惶

1973（昭和48）年に社団法人津青年会議所の記念事業として発足。

1979年市内小学生を募って少年隊を結成。

1984年少年隊から津・高虎太鼓として独立。現「津・高虎太鼓」となる。

津まつりへの参加を始め、定期演奏会・海外演奏等の単独演奏を行うほか、県・市代表として全国の交流出演、和太鼓フェスティバル、イベント等に多数参加。また、和太鼓の魅力伝える演奏体験（ワークショップ）では、県内の小学校、特別支援学校等へ多数赴くなど、次代を担う子どもたちへの教育普及活動にも取り組んでいる。

プロチームへの参加やソロ活動を果たす会員の輩出に加え、中高生を中心とした若手会員が日本太鼓ジュニアコンクール（主催：公益財団法人日本太鼓財団）への出場を目指すなど、意欲的な活動を通じて和太鼓の輪と和を全国に広げている。

会員の構成は6歳から75歳と幅広く、現在、会員数は150名を超え、少年隊会員、一般会員7チームで編成されている。青少年の健全育成と情操教育を目的に、和太鼓音楽の心と技を伝えながら、津市の郷土芸能の一翼を担っている。本日は、一般成人チームEのメンバーで演奏させていただきます。

14 仙北太鼓 Jr.

秋田県



演奏曲

ひ えん
炎 燕

代表者: 高橋 大輔

松田 悠斗 / 茂木 光希
高階 柚衣 / 渡辺 杏椰
西村 ころも / 田村 侑那
小林 真帆

1989年2月に秋田県の旧仙北町に「新しい創作芸能を」と町内外の有志により仙北太鼓を発足、今年で33年目を迎えており、現在も毎週稽古に励み、町の新しい芸能文化の1ページになればと頑張っております。演目は国指定史跡「払田柵跡」をイメージした数々の曲をレパートリーとし、活動の一環として大仙市内の幼稚園から小学校へ作曲演奏指導等も行い、和太鼓の普及活動や青少年の健全育成にも関与しております。

現在はコロナ禍でのメンバー減少や練習会場の確保に苦戦しておりますが、今年度はJrチームが全国大会初出場を成し遂げております。精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

15 やま と だい こ ほ ぞん かい こ てん どう じ 大和太鼓保存会 鼓天童子

佐賀県



演奏曲

たから がわ
宝 川

代表者：野方 嘉孝

菊池 輝／今泉 諒大
藤田 雅章／長野 來輝
天野さくら／秋山 煌貴
今泉 宗也／天野 なつ
天野 あい／多田 奏

1989年大和町街おこし事業の一環として結成され、地域の祭りごとを中心に活動しています。

今回のメンバーは小さい子が多いが「やる気だけは誰にも負けない！」と強い気持ちで古くから生活の川、命の川、宝の川と言われた故郷の川上川「宝川」への感謝をしっかりと太鼓に打ち込みます。

16 かわ ごえ だい こ 川越ふじ太鼓

埼玉県



演奏曲

こ おん
鼓 音

代表者：高橋 一代

木村 優月／矢島 瑚杜
小倉 大輝／中原 董
入倉 葉月／都丸 明浩
小澤 司／入倉 幸大
栢沼 聖也／都丸 純子

和太鼓を幼児教育の一貫として取り組んでいる保育園の職員・卒園児で1993年に創立。

「心豊かに、たくましく育てほしい」と、主宰者の願いから幼児・小学生中心の「和太鼓教室」として活動を始めました。「基本は幼児から」「異年齢と関わりを持ち、上下関係を学び、挨拶と返事が出来ること」「心身ともに強くたくましく」「身の回りを含む整理整頓」も和太鼓を通して身につけてさせています。2006年ジュニアチーム発足。

川越ふじ太鼓の要チームであり、市内外の各イベントの演奏もジュニア中心に活動をしています。

17

いわてけんりつおおふなとひがしこうとうがっこうたいこぶ
岩手県立大船渡東高等学校 太鼓部

岩手県



演奏曲

ながれ
潮 流

代表者: 千葉 久

村上 雅弥 / 今野 羽月
 平子 千寛 / 小澤 鉄
 熊谷 ひな / 大久保美優
 大畑穂乃佳 / 杉山 耀理
 佐々木優花 / 佐々木優輝
 井原 眞生 / 森 優
 高橋 瑠花

岩手県立大船渡東高等学校は、岩手県気仙地方唯一の総合的な専門高校として2008年に開校しました。本校太鼓部は、旧岩手県立大船渡農業高等学校時代に『大農太鼓』として発足し、以来40年を超えて、培われてきた伝統と志を受け継ぎ活動してきました。

現在、1年生から3年生まで合計14名が所属し、部員が一丸となって演奏を作り上げることを心がけ、練習を積み重ねてきました。日頃より先生方や地域の方々、先輩方など多くの方々からご指導いただき、各地での演奏活動を行っています。様々な演奏機会を通して郷土芸能の保存と普及に努めるとともに、日本太鼓ジュニアコンクール出場を目指して練習に励んできました。

18

こんこうとういんこうとうがっこう わだいこぶ こきょう
金光藤蔭高等学校 和太鼓部 “鼓響”

大阪府



演奏曲

なにわ
浪 花

代表者: 中山 幸二

鈴木 大斗 / 河野陽太郎
 藤井 翔矢 / 奥村 幸正
 杉本 康浩 / 中川 和音
 小林 司

金光藤蔭高等学校は大阪市にある高校で、和太鼓部は創部23年目を迎えました。和太鼓部の“鼓響”という名前には、私たちの太鼓に対する熱い思いが、太鼓の音のように遠くまで、心の奥底まで響き渡ってほしいという願いが込められています。また、「こきょう」という音は、「ふるさと」という意味の「故郷」にもつながっており、ふるさとの懐かしさや安らぎを感じられるような温かさ、ふるさとの山のように頑として動かない力強さの両面を持ち合わせた太鼓打ちとして、舞台に立ちたいという気持ちも同時に込められています。

私たちは、この“鼓響”という名前の由来を大切に、よりいっそう精進を積み重ねたいと思います。

19

にい がた ばん だい だい こ こ すけ 新潟万代太鼓 鼓助

新潟県



演奏曲

にい がた じん く ともえ う
新潟甚句巴打ち

代表者: 近藤いくの

阿部	好花	本間	友
渡辺	麗羅	堀	愛凜
近藤	彩世	風間	愛菜
杉野	輝斗	槇坂	昊
中澤	那月	金子	尊
阿部	結花	佐藤	柚希
高野	凜	古島	玲奈
風間	未波		

私たち鼓助は新潟の万代太鼓の一員として1973年に新潟市立沼垂小学校でスタートし、今年創立50年目を迎えます。この記念の年に、小学4～6年生と小学校卒業後も太鼓を続ける中高生がチームとなり新しい挑戦としてジュニアコンクールに参加いたします。

新潟の郷土芸能として受け継がれてきた万代太鼓。その特徴である樽の軽快なリズムと郷土色豊かな篠笛と太鼓の響きで、15人の心を一つに新潟万代太鼓を表現いたします。

20

わ だい こ 和太鼓サスケ

石川県



演奏曲

しん
信

代表者: 石塚 拓矢

山田	美琉	須谷羽	加葉
奥村	魅音	藪田	栞奈
木元	花鈴	加嶋	虹春
横内	杏美	谷口	歩
川口	詩月	寺田	智英
鶴垣	結愛	太田	幸介

和太鼓サスケは、石川県内の青少年健全育成を目的として、2003年に発足しました。切れがよくなおかつ安定感のある打奏が持ち味で、チーム理念「全身で曲を表現すること」「生命力のある太鼓の響きを追求すること」「全員が心を合わせて躍動的なリズムを打ち出すこと」を大切にして各々が「太鼓道」に邁進しています。

本日は、最高の舞台上でメンバー一同心を合わせ、日頃の稽古の成果を全て伝えられるよう、一生懸命演奏させていただきます。

21

じょうしゅう

たいこかい

上州あずま太鼓会

群馬県



演奏曲

ちゅうじ

くだ

忠治あずま下り

代表者: 須賀 正文

重田 結衣 / 井桁 有萌

吉野 心美 / 羽尾 太寿

畠中 拓真 / 中野 穂花

近藤明日羽

上州あずま太鼓会は、1990年4月に発足した団体です。

翌年太鼓を通して健全育成を目的に子供達のチームを作り、現在は5歳から60歳後半の会員30数名で活動しています。18歳以下のメンバーが自主的にチームを編成し、技術の向上を図る為、コンクールに挑戦している処です。

今年度は、7名がチームを編成し、県大会で幸運にも優勝させて頂き、加賀百万石の地にて、群馬の太鼓仲間の期待や声援を背負って全国大会に挑戦させて頂きます。

モットーとしている、『元気はつらつ』『心一つのチームワーク』更に、打ち込む曲の背景を表現し、観覧して頂いている皆様の心に響く演奏になるよう全身全霊で打ち込み、伸び伸び楽しく終われば最高です。

22

むろらんわだいこかい

きたかぜ

室蘭和太鼓會 北風

北海道道南



演奏曲

ほっかい いさ

ごま

北海勇み駒

代表者: 櫛引 秀明

遠藤 煌弥 / 横尾 小鈴

安藤 篤 / 遠藤 絢芽

木村 翔太 / 後藤 晴

櫛引 杏月 / 阿部 愛桜

木村 椿姫 / 櫛引 大和

室蘭和太鼓會は1995年、札幌に本拠地を置いていた「橋本流地獄太鼓室蘭支部」として発足、2015年、二代目地獄太鼓を継承し、室蘭を中心に道内各地で演奏活動を続けています。

活動方針は三つの想い「まちづくり」「人づくり」「受けつたえ」。

地域の行事や活動に積極的に参加をして演奏活動を行う「まちづくり」、チームワークの大切さと礼と節を学び青少年の健全育成を願う「人づくり」、そして多くの人たちに、日本太鼓の伝統とすばらしさを広めるための「受けつたえ」、この3つの想いで活動を続けています。

23 永平寺龍童太鼓

福井県



演奏曲

せんごく しき
戦国の士気

代表者: 宮本 秀幸

山口 市乃 / 鈴木 真麻
吉田 夢奈 / 畑 天翔
松下 蒼空 / 宮本 歩
澤村 結愛 / 坂本 愛奈
亀井 咲希 / 鈴木 悠真
村中 比鞠 / 宮本進之介
坂井 智哉

1985年に地元の有志の呼びかけにより、永平寺町東古市で結成されました。子ども達の健全育成と社会参加、また伝承芸能保存を目的として活動しています。

現在、20名で構成され、主に福祉施設の慰問や地区のお祭り各種イベントなどに参加しています。「笑顔の素敵なチーム」としてこれからも一人でも多くの方に太鼓の楽しさや素晴らしさを伝える活動をしていきたいと思っております。「練習で出来ないことは本番でも出来ない」を合言葉に仲間どうし励ましあい、日々の練習に励んできました。この舞台に立てる喜びと感謝を込めて演奏いたします。

24 諫早天満太鼓

長崎県



演奏曲

てん きょう
天 響

代表者: 古賀 靖治

高尾 伸吾 / 山口 結月
山田 駿斗 / 馬場 瑠衣
藤田 海心 / 北島 苺珂
松田 美咲 / 田坂 陽葵
北島 航聖 / 古賀 睦人

長崎県のほぼ中央に位置する3つの海に囲まれた諫早市。昔は酒樽を叩いて祭りを盛り上げていた。時代は流れ、今や太鼓なしでは諫早の祭りは始まらない。そんな中で生まれた『諫早天満太鼓』発足は1990年、小学生から高校生のジュニアチームを中心に青年、還暦チームと約30名太鼓馬鹿が集まり、日々熱い練習をしています。その中で喜びを分かち合えるかけがえのない仲間と出会い、心をつなげる大切さを知りました。

演奏曲『天響』は、日本一の干拓を持つ有明海や多良岳、吹きおろしの寒風など、わが町諫早の特徴、名前が、天まで響けと思いをのせた曲です。

25

あか びら ひ だい こ ほ ぞん かい 赤平火太鼓保存会

北海道道西



演奏曲

れつ か
烈 火

代表者：浮田 直利

畑中 優心／佐藤 志穂

加藤 楓華／佐藤 優花

関 雅也／大谷 敏綺

近藤 亮／池本 璃那

伊藤 蘭／田村 駿汰

伊藤 漣介

赤平火太鼓保存会は1977年に赤平青年会議所の手により「太鼓を通じて子供達の健全育成を図る」このような旗印をかかげて発足し、今年で45年がたちました。当初はメンバー10名ほどが集まり、誰一人太鼓の経験が無い状態で子供達に教えていました。現在はその子供達が指導者となり、会員数も増えて36名の会員で活動しています。

26

めいとく ぎ じゅくちゅうがく こうとうがっこう たいこ しゅうみ こ 明德義塾中学・高等学校 太鼓衆魅鼓

高知県



演奏曲

じょん う さ だいいっしょう しゅっぱん
John-宇佐-第1章 出帆

代表者：松井 正

山崎 大陽／木原 栄汰

TUNPRASERT MAHAPOB

山本 庵仁／佐藤 美羽

高橋 稀帆／宮田 桜華

松井 一音／松崎 万穂

私たち、明德義塾中学・高等学校和太鼓部〔太鼓衆魅鼓〕は今年度、創部17年目を迎えました。部は、日本人を始め、留学生、国際家庭の生徒が在籍し、国際色豊かな、また、多文化が共生する環境にあります。普段は地元である須崎市・土佐市を中心としたイベント等での演奏や、インターネットを利用した動画配信などを主な活動の場とし、また、海外姉妹校での演奏や自主公演、和太鼓のワークショップなどもしております。私たち部員は、海や山を直接肌で感じながら日々練習に励んでいます。

私たちが演奏する曲『John-宇佐-』も、このような環境の中から生まれた楽曲です。

27

しなののくにまつかわきょうがくだいこどもかい
信濃国松川響岳太鼓子供会

長野県



演奏曲

け しん
化 心

代表者: 仲川 達也

羽田 遥 / 手塚 大智

塚田 皓太 / 中村 光星

三澤 郁斗 / 山田 絃音

伊藤 千晴 / 西條なずな

小林ゆめり / 倉科 桂太

内山 朱音 / 岡里 淳生

信濃国松川響岳太鼓は1986年（昭和61年）、雄大な北アルプス、そして安曇野のシンボルである有明山の麓「松川村」で、太鼓の音が“山の峰々まで響け”そんな願いを込めて「響岳」と命名し、発足しました。

御諏訪太鼓宗家／故小口大八氏、御諏訪太鼓会長／古屋邦夫氏に師事し、以来、創作太鼓として国内外で活動を続けております。今後も、地域創造活動グループとして太鼓を打ち鳴らしていきます。本日演奏する曲は「化心」です。

人間の心の中にある怒り、悲しみ、喜び、様々な感情を般若の面で表情を隠し、太鼓の音と動きで表現した響岳太鼓の代表曲であります。

28

さん だい め げん りゅう
三代目源流

大分県



演奏曲

ち だ きょうてん
地打響天

代表者: 城内 三美

阿南 晴大 / 迫 芽吹

長谷川 凌 / 鈴江 蓮央

長谷川 凜 / 立川 暖真

永松 寛祐 / 菅 航史郎

三代目源流は「豊の国ゆふいん源流太鼓」の音を後世に継承したいという思いで、2014年に発足しました。6歳から16歳までのメンバーで日々練習を続けています。全国から集まる精鋭の皆さんとこの舞台に立てることに身が引き締まる思いです。太鼓を打つことで「心を磨き」「感謝を学び」「礼節を志す」一打が地を這い、天に上る龍のように、この一打に想いを込めてこの舞台に立つ、こころして臨む。私たちを応援してくださる由布院の地に届くように……。

29 まつ だいら だい こ 松平わ太鼓

愛知県



演奏曲

れん たい
連 帯

代表者: 鈴木 隆之

小野田智己／七原寧々花
戸川 紗夢／福井 勢生
横山 杷音／小野田亜咲
竹内 楓真／七原 純祥
横山 隼世／西野 鴻佑

松平地区の太鼓の歴史は、今からおよそ600年前の「雲竜太鼓」にさかのぼります。雲竜太鼓は、応永28年（1421年）徳川の始祖、松平親氏から3代目信光の初陣の際に打ったのが始まりといわれています。

この時、東の空に竜に似た雲がいまにも勇ましく駆けているかのように信光公ら松平家臣の目に映った事から「三河雲竜太鼓」と名付けられました。

そんな「三河雲竜太鼓」を打つことを目標に集まり1984年に「松平わ太鼓」が結成されました。『松平わ太鼓』の「わ」は和太鼓の「和」と仲間の「輪」が松平地区をはじめ、全国に広がればという願いが込められています。観れる太鼓、聴ける太鼓、肌で感じる太鼓を目指し練習に励んでいます。

本日は松平わ太鼓ジュニアが一所懸命演奏しますので、よろしくお願い致します。

30 げん た ら たい こ ほ ぞん かい しん 源多良太鼓保存会「心 (shin)」 富山県



演奏曲

かがや そら
輝く空に

代表者: 中山 光恵

矢部 杏実／宮丸 華音
木戸 一翔／奥波 蒼真
島次 斗希／小崎涼太郎
木戸 啓翔／伊東 湮

源多良太鼓保存会は、1989年、富山県高岡市福岡町大滝地区の「開磬」という小さな集落に古くから流れる“源多良川”からその名がつけられ、郷土芸能の再興、青少年の健全育成を目的とし、まずは子供太鼓が結成されました。1992年には大人太鼓も結成し35年に渡り活動をしています。

子供太鼓は、2009年、11名でチーム名を「心 (shin)」と名付けて活動開始。心弾むときも、心痛むときも、いつも心が通い合う仲間でありたい・・・と名付けられました。今回出場を果たした「心 (shin)」は中学1年生～高校2年生で結成した8人です。

31 かけ や だい こ 掛合太鼓ジュニア

島根県



演奏曲

る てん
流 転

代表者: 松下 周二

吾郷 飛衛/天早 愛理
石崎 蒼大/石飛 樹希
織田 朔矢/景山 莉子
藤原 奈緒/松原陽 菜子
大田 春希/加藤 朱嵐
三島 宇太/武田 風眞
高尾 優奈/堀江 音羽
三島 杏菜

私たち掛合太鼓ジュニアは、掛合中学校の生徒で活動をしています。私たちが育った雲南市掛合町は、自然が豊かな町で幼い頃から太鼓が常に身近なもので、今でもこの町の学校の卒業生は必ず1曲演奏できます。

今回演奏する「流転」では、四季折々の色どりがある県立自然公園「八重滝」の千姿万態の様子や、落差40メートルある中国地方でも名瀑といわれる「龍頭ヶ滝」の勇ましい様に加えて、季節の移り変わりを水が流れ転じる様子を表現している曲です。

今年は人数の少ない中でこれまで以上にチームワークを大切にしてきました。私たちの代名詞の一つ「フサバチ」を用いて、コンクールではありますが、あえて「掛合太鼓」らしく華やかに、皆さまへお届けしたいと思います。そして、今まで教えてくださった方々や、地域の方々へ感謝の気持ちを一生懸命演奏したいと思います。

32 ひ かみ おと め だい こ そう 火の神乙女太鼓 爽

鹿児島県



演奏曲

は
晴レバレ

代表者: 平田 寿一

萩原 花吏/萩原 李羽
桑原 瑛太/竹内 遥花
蒲地 彩乃/立石 そら

自由曲「晴レバレ」は、「自分の人生を自ら切り拓き、前に進む姿」をイメージしています。その前に進む姿は、晴れ晴れとした爽やかな気持ちで太鼓に向かい、一音一打を大切に、丁寧に奏でる。繊細に、かつ大胆に打ち込むことで音域・音量を最大限に使って曲を表現します。速くて細かいリズムや大音量の演奏、たくさんの太鼓を使用するといったスタイルが多い中、私たちは、基本を大切に自然体で打ち込み、心地よいリズムと音を奏でる自分たちのスタイルを貫きます。

「今、自分たちにできる最高の演奏」をすることで、お客様に喜んでいただけたらと思います。

33 ほっ かい 北海みゆき太鼓 だい こ

北海道道南



演奏曲

きた だい ち
北の大地

代表者: 梅花 孝好
金澤 信心 / 三好 杏奈
片岡 健

北海みゆき太鼓は札幌を拠点として演奏活動を行っている『橋本流地獄太鼓』の室蘭教室として2004年4月に結成いたしました。一打一魂、スピード感のあるダイナミックな振りで視覚・聴覚を通し、心に訴える独自の太鼓演奏を目指しています。

室蘭のお祭りやイベントなどに参加し、室蘭を中心に演奏活動をさせていただいております。

これからも皆様の心に北海道の冬の厳しさ、人々の温かさ、力強さが伝わりますよう一生懸命演奏していきます。

34 いわ ふね む さし だい こ じゅにあ 岩舟武蔵太鼓 Jr.

栃木県



演奏曲

き りゆう
氣 流

代表者: 上 敬夫
上 源 / 上 鼓々路
田村 心椀 / 上 新
上 太蔵 / 上 颯太
清水 晴心 / 兵藤 凱咲

私たち岩舟武蔵太鼓ジュニアの活動拠点は栃木県南部の緑豊かな小さな町にあります。皆、仲良く切磋琢磨し、日々技術の向上に励んでいます。

演奏曲は「氣流」関東平野、下野の国南部に位置する三疊山。

万葉のいにしえより吹き下ろす風は豊かな自然を育んできた。その吹き下ろす風と大地から溢れ出る氣を表現しました。

35 わ じま わ だい こ とらの すけ 輪島・和太鼓 虎之介

石川県



演奏曲
の と のくにきり こまつり
能登國切籠祭

代表者：橋爪 朱宗
大端 遼／前田 優穂
川端光太郎／坂田 紘都
加川 壮馬／川端遼太郎
大形未那美／加川 桜馬

私共は、石川県輪島市に、伝統の祭り太鼓を基本とし、和太鼓の「新しい風を」との思いで、2000年に結成しました。地元のお祭りのお囃子から、和太鼓、本来の音色を引き出し、打ち込みたいとの思いを込めて作った曲です。私どもなりに、能登らしさを忘れずに今回の曲で、和太鼓が大好きなメンバーが一丸となり、練習の成果を発揮し、上位入賞を目指したいと思いを込めています。

36 いとしま に じょうきずな だい こ 糸島二丈絆太鼓

福岡県



演奏曲
がらしゃ
我羅紗-GARASHA-

代表者：田中 茂雄
有田莉々香／桑原 光希
鏡 壮真／上林山光喜
埜渡 心乃／南阪 光里
山本 諭志／勝木 柊哉
有田 梨花／三丸みのり
森園 心美／櫻井 千尋
埜渡 悠乃／西 絆花

糸島市は福岡県福岡市と佐賀県唐津市の間にある自然豊かな地域です。糸島二丈絆太鼓はこの糸島地域を中心に活動を行っている子ども太鼓集団です。

本日演奏いたします我羅紗-GARASHA-は、3歳から太鼓を習い始め高校3年生で最後のジュニアコンクールを迎える団員と、戦国時代の動乱を駆け抜けた細川ガラシャを重ねて創られた楽曲です。コロナに翻弄され、時代が大きく変化し続ける現代でも自分達の意思をしっかりと持ち、一つの事をつらぬく心はとても大切な事と考えています。

『散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人も人なれ』

まだまだ太鼓人生は続いて行きますが、青春の全てをぶつけ、長年お世話になり続けたジュニアコンクールへの想いを込めて演奏させていただきます。

37

でん さぶ ろう だい こ わらべ
ふじた傳三郎太鼓童

岡山県



演奏曲

しゅん らい
春 雷

代表者: 河原 寛
中村 天音 / 藤丸智輝世
黒住さくら / 盛野 琥鉄
景山 晃司 / 牧野航太郎
盛野 瑚夏

私たち「ふじた傳三郎太鼓」は1995年に発足し、今年で結成27年目を迎えました。岡山市藤田地区は岡山県南部で藤田傳三郎翁率いる「藤田組」による児島湾干拓の偉業を後世の人々に伝える事を目的として発足されました。「開拓の歴史と先人の魂を未来につなげて…」を胸に刻み、楽しく力強い太鼓を演奏いたします。

今回演奏する「春雷」は、春のすべての植物が芽吹く頃に、まるで万物に生命を注ぎ込む様に響く雷鳴をイメージした曲になっています。大勢の方の前でこの曲を披露することが出来るのがとても嬉しいです。少し早いですが春の息吹をお届けすることができたらと思います。

38

まい づる いち ざ あき づき こ どう
舞鶴一座 秋月鼓童

宮崎県



演奏曲

けん が
懸 河

代表者: 石田 卓也
馬渡 志桜 / 宇高 和月
山下 真央 / 岩野 泰士
小宮路琉音 / 藤原 朝妃
樋高 絢音 / 高木 雪音
馬渡 花穂

宮崎県の県央部に位置する人口約2万人の小さな町「高鍋町」より参加させていただきます。最近では餃子の町としても知られ、活性化の一躍を担っています。

我が町の偉人である秋月種茂公は、町の人財育成を主に教育に最も力を注ぎ、人を想う仁の心で「文教の町高鍋」の礎を築きました。その善政は、明倫の教えとともに、現在も児童教育を通して伝えられています。

舞鶴一座秋月鼓童は、お陰様で設立21周年、その教育の裾野を広げることを目標に掲げ活動をして参りました。今回、私どもは2回目の全国大会に出場することができました。

演奏させていただく曲「懸河」は、その名の通り滝のように勢よく流れる川、時折変化するよどみのない清流、それを照らす玉のような月光を表現しております。

今後も和太鼓を通し、精神力を鍛え、礼儀を重んじ、感謝する心を大切にして、演奏活動を通じて感動していただけるよう邁進してまいります。

39 富岳太鼓 風神組

静岡県



演奏曲

やく しん
躍 進

代表者：山内 剛

田中 花瑠／武藤麻里奈
三枝 楓蓮／田口 春海
田中 実桜／向山 侑汰
丹地 朱／西島 希和
森田 瑚彩／杉山 結香
杉山 翔亮／泉 優菜

富岳太鼓は、日本一霊峰富士の麓、静岡県御殿場市に所在します。設立は、1977年、社会福祉法人富岳会の施設を利用する知的障害者のセラピーとして和太鼓に着目し和太鼓療育として実践したところから始まりました。

風神組は、富岳太鼓が地域の4歳から中学3年生までを対象に開いている太鼓教室に通う子どもたちとそのOBの高校生の中からオーディションで選抜された18名のメンバーで構成されている公演活動を目的としたチームです。「太鼓で学ぶ」を基本理念として和太鼓を通じてバランスのとれた人間形成を目指して日々稽古に励んでいます。主な活動は、毎週土曜日の稽古と休日を利用して地域のイベントや福祉施設でのボランティア公演を行っています。

40 やまばと太鼓

秋田県



演奏曲

ふるさとまつり

代表者：大友 剛

大山 美咲／下坂 陽菜
下坂 陽南／小峰 庵
梶山 銀雅／高橋 渚斗
鈴木まのん／池田 芽生
高野 真帆／大友 心響
伊藤 優月／高橋 奏音
池田 吏玖／朝倉 妃捺
大友 晟響

「心のふるさと やまばと太鼓 それは幼い日の思い出」

「太鼓の音それはお母さんのお腹の中で聴いた懐かしい音」

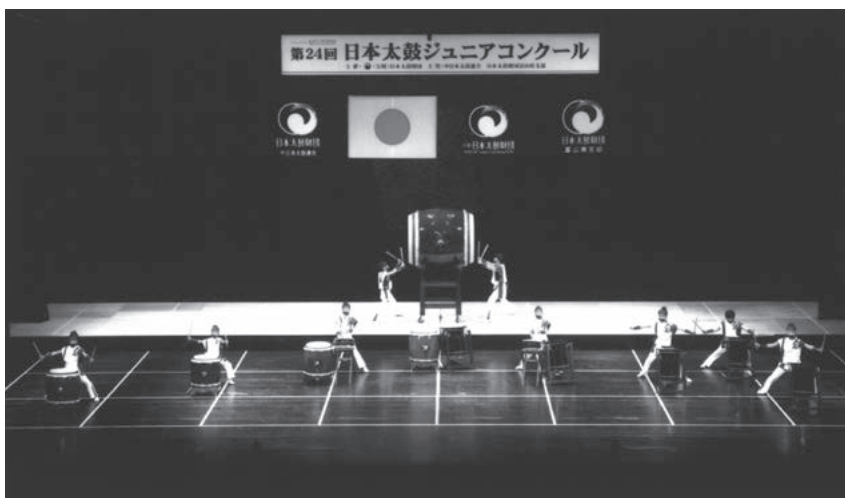
秋田市にあります「やまばと保育園」の卒園児と地域の子ども達、大人で活動している団体です。

「ふるさとを大切にしたい、自分の生まれ育った地を忘れないで欲しい」そんな思いから1986年、子ども達の健全育成の願いを込めて始めました。子どもには限りない能力と可能性を感じます。

子ども達が太鼓を通し、太鼓の技術だけでなく挨拶や思いやりの心など、人として大切な事も身に付け、健やかに成長し、素敵な大人になってくれることを願って活動しております。

41 やま と ひび きょう 大和の響き・京

京都府



演奏曲

みやこ ほまれ
都 誉

代表者: 富治林 浩

木原 花琳 / 木原 花音
木原 心花 / 岡本 紗奈
林 哲平 / 林 佐和
大谷 愛 / 福井 虹七
山上 貴弘

冬季長野オリンピック出場に際し、京都府下の太鼓好きのジュニアが集まり、指導者が加わり、1997年チームを結成。太鼓を学ぶ「心技態」をテーマに活動を続けている。毎週、日曜日に月4回の練習に励んでいる。最近ではメンバー一同で、オリジナル曲を相談して創作し、心を合わせて演奏出来る事を目標に努力をしています。

今回、「都誉」は代表の「富治林 浩」が京都府文化賞功労賞を受賞したことを記念し、チームリーダー「竹村 勇也」が創作した新曲です。

42 わ ろっく じゅにあ かなで 和☆Rock Jr. 奏

広島県



演奏曲

うん がい そう てん
雲外蒼天

代表者: 荒井 啓

山本 正大 / 木村 宙斗
遠西 拓真 / 坂根 貫太
河中 蒼空 / 中塩 真音
部谷 奏輔 / 佐々木陽介
網場 渉 / 小関 凜華
吉川 貴治 / 竹村 陽斗
坂根 汰空 / 公文丞一朗
坂根 光迦

「和☆Rock Jr.奏」は広島県呉市の和太鼓グループ。同じく県内で活動を行う和太鼓集団「Japanese Drum 和☆Rock」の弟分として2010年に結成しました。

小学1年生から高校生までの地域の子も達が集まり、和☆Rock指導のもと、月4回稽古を行っています。しっかりと基礎から取り組み、目指すは「より理論的で力強く美しい表現」。

演奏曲はオリジナル曲、雲外蒼天。

分厚い雲に覆われた様な日々、未来には必ず青空が広がっていることを信じて、これからも打ち続けていきます。今回、日本太鼓ジュニアコンクール初出場です！この素敵な機会に感謝し、心を込めて、演奏させていただきます。

43

たいこ どうじょうかぜ かい
太鼓道場風の会ジュニア「雷神組」

山形県



演奏曲

じん らい
迅 雷

代表者: 伊藤 裕介

村上 瞭太 / 小野 愛香

佐藤 颯 / 佐藤 渚

佐藤 泰温 / 彦坂心々夏

鈴木 十和 / 佐藤 那香

稲泉 色羽 / 伊藤ちさと

小川 紗枝 / 進藤 朋

山形県酒田市の太鼓団体、太鼓道場風の会。そのジュニアチームとして、風神組と雷神組が2012年に発足しました。「基本は心」の道場理念のもと、日本太鼓の伝統継承や地域の活性化、青少年の健全育成を目的に日々練習を重ねております。

23名のジュニアメンバーの内、雷神組は中学1年生から高校3年生まで13名の選抜で構成されており、よりレベルの高い演奏をするために意識するポイントや練習内容など、メンバーと指導者が一緒になって考え、取り組んでおります。

各種のお祭りや地域のイベント行事、ジュニアコンクール等、積極的に出演して地元酒田を盛り上げております。本日も皆様の前で精一杯楽しんで演奏しますので応援よろしくお願い致します。



演奏曲

たいちゆうでん せつ
台中傳説

代表者：馮韻怡

劉迦勒／陳雯翔
張家捷／張育豪
陳建叡／羅語晨
邱健恩／李明翰
蔡承璋／楊仁佑

葫蘆墩 Smile 太鼓團は台湾台中市豊原区から来ました。2002年に、太鼓文化の伝承のため、太鼓團を結成しました。太鼓を人前で叩くことなどで子ども達に自信をつけたり、他人への思いやりや団体意識の養成を育成したりしています。

太鼓の研修や練習を重ね、演奏のたび違う成長が見られます。2008年に豊の国ゆふいん源流太鼓の長谷川義先生に出会い、基本練習をしっかりと教えていただき、新曲を追うよりも打ち込みの方が大事と学びました。

メンバー皆同じ目標を立て、厳しい練習にたえて、頑張る姿はとても感動的でした。2012年11月念願の台湾ジュニアコンクールに優勝しました。そして、2013年3月に日本太鼓ジュニアコンクールに初めて参加する事が出来ました。

2015年3月、2017年3月にも日本太鼓ジュニアコンクールに参加出来たことを大変嬉しく光栄に思います。その後コロナの影響で大会が出来ませんでしたが大鼓の練習は変わらずに頑張ってきました。この度コロナの緩和により第25回日本太鼓ジュニアコンクールに参加出来ることに心より感謝いたします。

歴代の優勝チームは私達の模範です。舞台での表現と心をこめた打ち込みを心得、これからも初心を忘れずに練習に練習を重ね、最高の状態で日本太鼓ジュニアコンクールに参加し、最高の演技が出来るように、全力を尽くします。最後にいつもお世話になっている日本太鼓財団の大澤理事長を始め、指導してくださっている長谷川先生や太鼓財団の皆様、この度お世話になる皆様方に感謝致します。心よりお礼を申し上げます。

特別出演

わか ぼ たい こ クリチーバ若葉太鼓

ブラジル



演奏曲

もちつき

代表者: 村上 エルメス 孝志
井上 あけみ タイウニ レイテ
へオロン アウグスト 渡辺
へオロン ベアトリス 渡辺
平田 ギリエルメ シカレロ
景山 グスタボ 鋭二
リマ イザベラ 横尾
ジャシント かおり すえなり
ジャシント けんぞ すえなり
オステルナク ラリサ ダイエレ
平田 ルーカス シカレロ
カルドーソ ルーカス けんじ
土佐 ニコラス 琢海

クリチーバ日伯文化援護協会は、パラナ州の州都、クリチーバにあります。日本文化を太鼓を通じて普及することを目的として、若葉太鼓による和太鼓の活動があります。

日本太鼓ジュニアコンクールで有名な太鼓チームと同じ舞台上で演奏出来ることがとても光栄です。海外の和太鼓奏者にとって、日本を訪れることは夢のようなことです。

新型コロナウイルスの影響で日本行きが延期になってしまいましたけれども、今回は必ず日本の和太鼓、文化、いろいろを知る機会があります。皆さんの健康と、日本太鼓財団、並びにブラジル太鼓連盟に感謝を捧げたいです。また、日本と台湾の太鼓グループその他の人たちとも会えることを楽しみにしています。

わ だい こ
和太鼓たぎり

福岡県



演奏曲

た ぎり
泌 泉

代表者：植田 美紀

白本 鈴乃／長副 萌
黒土 陸斗／中山 愛咲
森山美沙姫／河端 悠莉
奥畑 彩音／二場 優月
浦川 大翔

和太鼓たぎりは泉湧く泌泉の里 糸田町に地域の伝統文化の
伝承及び普及、地域の活性化を願い結成されました。

糸田町には名前の由来となる「泌泉の坪」があり歴史的にも
豊日別命や神功皇后などにまつわる伝説が今も数多く残って
います。

和太鼓たぎりとはこの泌泉の坪から脈々と湧き出る清らかで且
つ勢いに満ち溢れる水源のようにありたいと願い命名いたしまし
た。

驕る事なく泥臭く我武者羅にたぎりらしく演奏いたします。

和太鼓たぎりは、「第24回日本太鼓ジュニアコンクール」(2022
年3月20日)で優勝し、内閣総理大臣賞を受賞いたしました。

開催実績

- **自治大臣杯第1回日本太鼓ジュニアコンクール**
1999年3月21日(日) サンアリーナ川北(石川県能美郡) 出場団体34団体(29都道府県)
優勝: 共栄太鼓風雅(石川県)
- **自治大臣杯第2回日本太鼓ジュニアコンクール**
2000年3月19日(日) 松任市総合運動公園文化体育館(石川県松任市) 出場団体34団体(29道府県)
優勝: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯第3回日本太鼓ジュニアコンクール**
2001年3月25日(日) 岡谷市文化会館カノラホール(長野県岡谷市) 出場団体33団体(29都道府県)
優勝: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯第4回日本太鼓ジュニアコンクール**
2002年3月24日(日) 郡山ユラックス熱海(福島県郡山市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第5回日本太鼓ジュニアコンクール**
2003年3月22日(日) 山梨県立県民文化ホール(山梨県甲府市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣奨励賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第6回日本太鼓ジュニアコンクール**
2004年3月21日(日) 羽島市文化センター(岐阜県羽島市) 出場団体38団体(32都道府県)
優勝: 華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)
文部科学大臣奨励賞: 天城連峰太鼓(静岡県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞 第7回日本太鼓ジュニアコンクール**
2005年3月20日(日) 神奈川県立県民ホール(神奈川県横浜市) 出場団体40団体(33都道府県)
優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣奨励賞: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第8回日本太鼓ジュニアコンクール**
2006年3月19日(日) まつもと市民芸術館(長野県松本市) 出場団体41団体(34都道府県)
優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: ゆふいん源流少年隊(大分県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール**
2007年3月25日(日) 京都会館第一ホール(京都府京都市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)
文部科学大臣賞: 岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)
- **総務大臣杯・文部科学大臣賞 第10回日本太鼓ジュニアコンクール**
2008年3月23日(日) 松任総合運動公園体育館(石川県白山市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
- **第11回日本太鼓ジュニアコンクール**
2009年3月22日(日) アクトシティ浜松(静岡県浜松市) 出場団体43団体(32都道府県)
優勝: 太鼓研修センター「響」(宮崎県)
準優勝: 信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
- **第12回日本太鼓ジュニアコンクール**
2010年3月21日(日) 大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市) 出場団体47団体(35都道府県)
優勝: 橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)
準優勝: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)
文部科学大臣賞: 山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島県)
- **第13回日本太鼓ジュニアコンクール**
2011年8月13日(土) 名古屋国際会議場(愛知県名古屋市) 出場団体45団体(34都道府県)
優勝: ZENKAI太鼓「和」(大分県)
準優勝: 手取亢龍若鮎組(石川県)
文部科学大臣賞: 輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第14回日本太鼓ジュニアコンクール**

2012年3月25日(日) ベイシア文化ホール(群馬県前橋市) 出場団体46団体(33都道府県)

優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

準優勝：源流はさま太鼓(大分県)

文部科学大臣賞：熊本市立必由館高等学校 和太鼓部(熊本県)

■ **第15回日本太鼓ジュニアコンクール**

2013年3月24日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体49団体(35都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

準優勝：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞：葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第16回日本太鼓ジュニアコンクール**

2014年3月23日(日) 郡山市民文化センター(福島県郡山市) 出場団体53団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：岩代郡山うねめ太鼓保存会 小若組(福島県)

準優勝：天祥太鼓團(台湾)

文部科学大臣賞：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

■ **第17回日本太鼓ジュニアコンクール**

2015年3月22日(日) ホクト文化ホール(長野県長野市) 出場団体54団体(36都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝：信濃国松川響岳太鼓子供会(長野県)

文部科学大臣賞：葫蘆墩 Smile 太鼓團(台湾)

■ **第18回日本太鼓ジュニアコンクール**

2016年3月20日(日) iichiko総合文化センターグランシアタ(大分県大分市) 出場団体51団体(38都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

準優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞：コロニアピニャール飛翔太鼓(ブラジル)

■ **第19回日本太鼓ジュニアコンクール**

2017年3月19日(日) 神戸国際会館こくさいホール(兵庫県神戸市) 出場団体56団体(37都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝：輪島・和太鼓 虎之介(石川県)

文部科学大臣賞：橘太鼓響座「一」(宮崎県)

■ **第20回日本太鼓ジュニアコンクール**

2018年3月25日(日) 金沢歌劇座(石川県金沢市) 出場団体60団体(40都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：三代目源流少年隊(大分県)

準優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

文部科学大臣賞：太鼓研修センター「響」(宮崎県)

■ **第21回日本太鼓ジュニアコンクール**

2019年3月24日(日) けんしん郡山文化センター(福島県郡山市) 出場団体59団体(40都道府県・ブラジル・台湾)

優勝：和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝：手取亢龍若鮎組(石川県)

文部科学大臣賞：神洲八幡巫太鼓(福岡県)

■ **第22回日本太鼓ジュニアコンクール *新型コロナウイルスの影響により中止**

■ **第23回日本太鼓ジュニアコンクール *動画審査**

2021年9月18日(土) 笹川記念会館(東京都港区) 出場団体26団体(7ブロック・ブラジル・台湾)

優勝：橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎県)

準優勝：三代目源流少年隊(大分県)

文部科学大臣賞：院内童龍太鼓(大分県)

■ **第24回日本太鼓ジュニアコンクール**

2022年3月20日(日) オーバード・ホール(富山県富山市) 出場団体32団体(29都道府県)

優勝：和太鼓たぎり(福岡県)

準優勝：三代目源流(大分県)

文部科学大臣賞：太鼓研修センター「響」(宮崎県)

上記事業は全て日本財団の助成事業として実施いたしました。

公益財団法人 日本太鼓財団 概要

<設立日> 1997年11月11日

<公益財団移行日> 2012年4月1日

<資産> 基本財産 3億円

<加盟支部数> 47支部 (43都道府県)

<加盟団体数> 約670団体

<会員総数> 約18,000人

<役員>

会長	長谷川 義	豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉最高顧問
理事長	大澤 和彦	常勤
副会長	高野 右吉	高野右吉と秩父社中代表
常務理事	佐々城 清	常勤
理事	浅野 昭利	(一財)浅野太鼓文化研究所理事長
理事	石井 幹子	(株)石井幹子デザイン事務所代表取締役社長
理事	中西 由郎	元(一財)日本モーターボート競走会監事
理事	山内 強嗣	(福)富岳会理事長

<評議員>

評議員	岩切 邦光	全九州太鼓連合会長
評議員	岡田 知之	元(公社)日本吹奏楽指導者協会会長
評議員	河合 睦夫	越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長
評議員	佐藤 淳子	元(一財)ライフ・プランニング・センター理事
評議員	高島 肇久	(学)津田塾大学理事
評議員	古屋 邦夫	御諏訪太鼓保存会会長・中日本太鼓連合会長
評議員	宮崎 義政	銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

<監事>

監事	伊藤 勝彦	弁護士 ITN法律事務所
監事	竹村 葉子	弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(五十音順・敬称略)

2023年度の主な事業活動予定

■ 日本太鼓ジャンボリー 2023

期 日：2023年5月27日(土)
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)
主 管：日本太鼓財団東京都支部
出演団体：10団体程度

■ 第8回大学太鼓フェスティバル

期 日：2023年8月25日(金)
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)
共 催：大学太鼓連盟
出演団体：10団体程度

■ 第25回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2023年10月1日(日)
場 所：文京シビックホール大ホール(東京都文京区)
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出場団体：30団体程度

■ 第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」

期 日：2023年10月15日(日)
場 所：金沢歌劇座(石川県金沢市)
主 催：文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、
いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、
(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部
出演団体：35団体程度

■ 第20回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2023年11月19日(日)
場 所：輪島市民会館(石川県輪島市)
主 催：(公財)日本太鼓財団、(公社)石川県太鼓連盟、(一財)石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：30団体程度

■ 第26回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2024年3月24日(日)
場 所：大宮ソニックシティ(埼玉県さいたま市)
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団埼玉県支部
出場団体：50団体程度

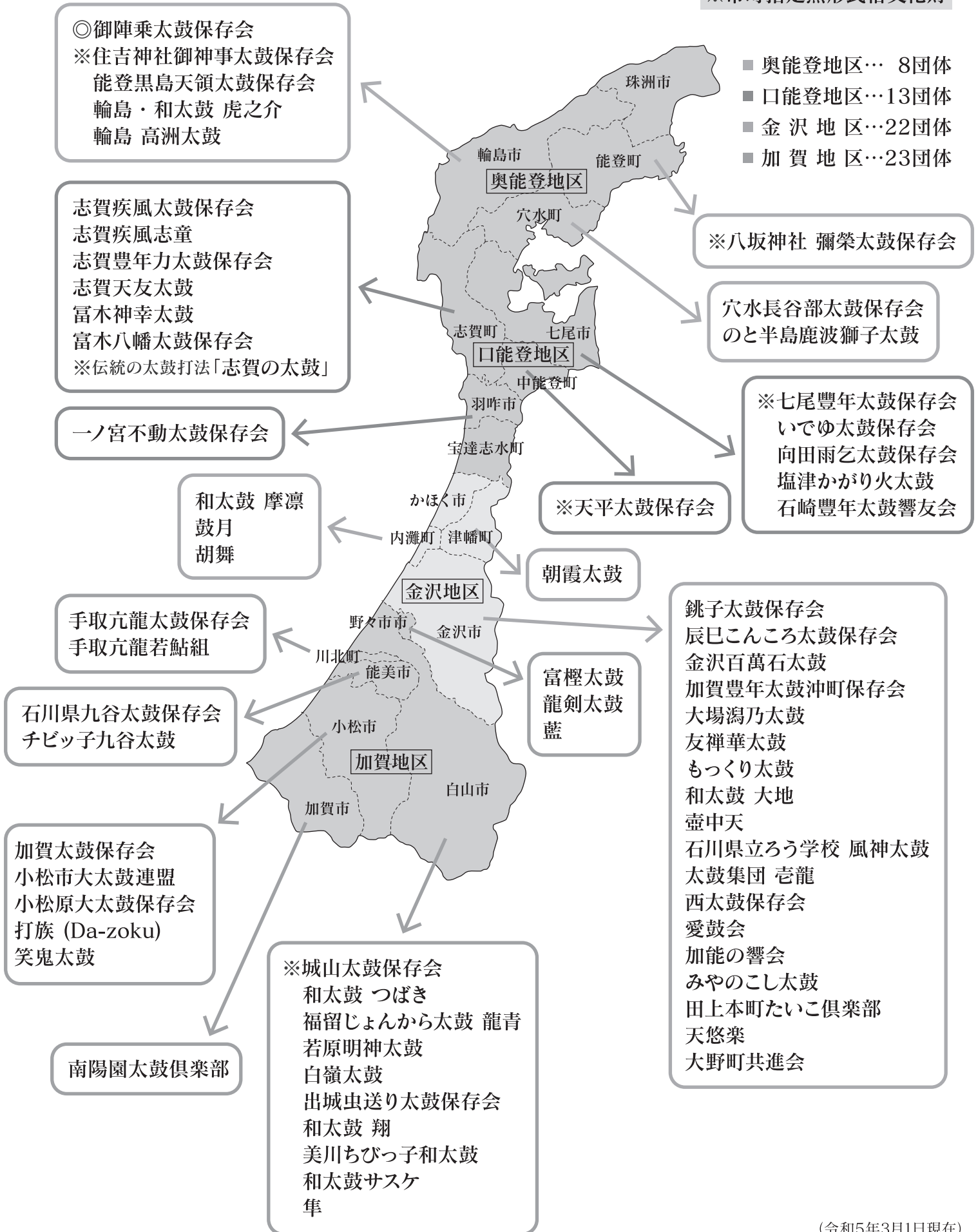
■ 日本太鼓技術普及事業(日本太鼓講習会&資格認定事業)

日本太鼓全国講習会
第70回日本太鼓全国講習会 2023年8月頃 東北地区
第71回日本太鼓全国講習会 2024年2月頃 九州地区

公益社団法人 石川県太鼓連盟『石川の太鼓マップ』66団体

◎県指定無形民俗文化財

※市町指定無形民俗文化財



北國新聞 富山新聞



北國新聞社

金沢本社 / 〒920-8588
富山本社 / 〒930-8520

石川県金沢市南町 2-1
富山県富山市大手 5-1

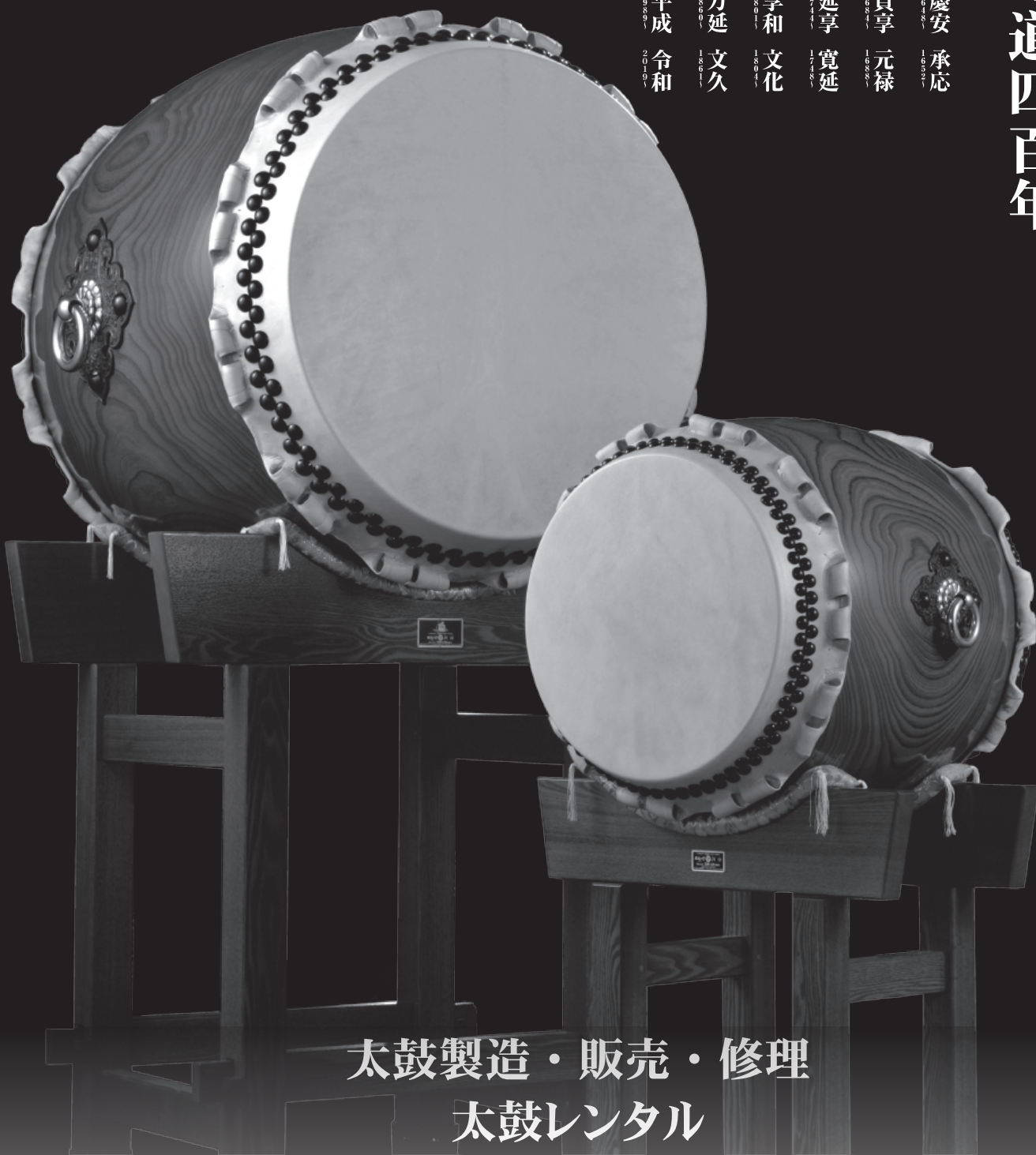
番号案内 076(263)2111
番号案内 076(491)8111

創業慶長十四年

この道四百年

新 浅野太鼓

慶長十四年	元和	寛永	正保	慶安	承応
1609	1615	1624	1644	1648	1650
明暦	万治	寛文	延宝	天和	貞享
1658	1661	1673	1684	1688	1690
宝永	正徳	享保	元文	寛保	延享
1704	1711	1716	1736	1741	1744
宝暦	明和	安永	天明	寛政	享和
1753	1766	1772	1789	1800	1804
文政	天保	弘化	嘉永	安政	万延
1818	1826	1834	1845	1854	1860
元治	慶応	明治	大正	昭和	平成
1867	1868	1868	1897	1926	1989
					令和
					2019



太鼓製造・販売・修理
太鼓レンタル

株式会社浅野太鼓楽器店



〒924-0051 石川県白山市福留町587-1

TEL 076-277-1717 FAX 076-277-2228

URL <http://www.asano.jp> E-mail taiko@asano.jp



森をつくる太鼓

ECHO-LOGICAL TAIKO

Hinohara model は檜原村にある東京チェンソーズ社と共に開発した東京のスギの間伐材の桶太鼓です。

森をつくる太鼓を広げることで、日本の森林が豊かに育ち、木材としての価値の向上、産業としての効率化、多様性ある森づくりに貢献していきます。

イベント情報随時更新中 ▼

森をつくる太鼓
ウェブサイトへ
View the website



宮本卯之助商店 エンドーサー
山部 泰嗣

地拍子太鼓 浮造りグレイ
Hinohara model

太鼓直径：1尺7寸5分
217,800円（税込）

※黒・茶などの通常色も販売致しております。

跳拍子太鼓 浮造りグレイ
Hinohara model

太鼓直径：1尺3寸
203,500円（税込）

宮本卯之助

みこしわっしょい
☎ 0120-354041

【受付時間】9:00~18:00（火曜定休）



太鼓足袋は丸五



祭走ファスナー

カラー：黒・白

サイズ：22.5～28・29cm



エアージョグV 6枚、12枚

カラー：黒・白・藍

サイズ：22.5～28・29・30・31・32cm



株式会社丸五

710-1101 岡山県倉敷市茶屋町 1680-1

Tel 086 428 0230 / Fax 086 428 7551

marugo.ne.jp



- ・ 日本太鼓財団公認 ・ 「岡谷太鼓まつり」 300 人
揃い打ち提供 ・ 岡谷市ふるさと納税返礼品
各種和太鼓製造販売修理付属品全般



諏訪響太鼓店

〒394-0004

長野県岡谷市神明町 2-5-16 (御諏訪太鼓会館)

TEL0266-23-6146 FAX0266-23-8832



ホテル金沢

HOTEL KANAZAWA

〒920-0849

金沢市堀川新町 1 番 1 号

TEL 076-223-1111



ホテル公式
ホームページ



〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目11番2号
Tel (03)6205-4377 Fax (03)6205-4378
URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp>
E-mail : info@nippon-taiko.or.jp